

奄美海上保安部便り 第65号

- ・第65号は2022年7月から11月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



夏休み自由研究応援 “小学生が海上保安庁の仕事体験”

7月11日、小学生が、巡視船「あまぎ」と笠利埼灯台の仕事を体験しました。午前には、巡視船「あまぎ」で児童15名が、海上保安庁の業務を学び、指紋採取や海上保安官の制服試着などを体験しました。そのうち8名が、将来、奄美の海を守る海上保安官になることを約束してくれました。午後は、笠利埼灯台で児童5名が、灯台の役割と仕組みを学び、機械の点検を体験、普段は登れない灯台の上から奄美の美しい青い海と空、丸い水平線の絶景を楽しみました。更に、鹿児島航空基地の航空機のサプライズの飛来に絶叫しました。



巡視船「あまぎ」と記念撮影



指紋採取体験



潜水服試着



海図作業体験



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



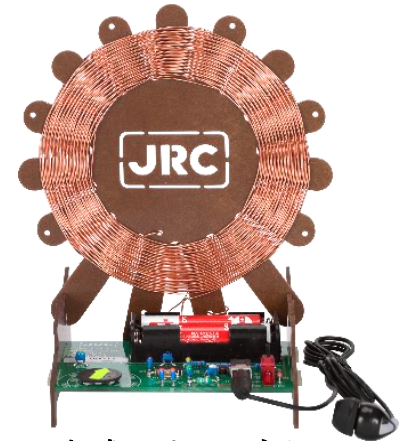
笠利埼灯台の灯器の説明



笠利埼灯台で航空機の飛来

小学生のラジオ工作教室を開催

笠利埼灯台 60 周年にあたり、奄美の皆様のこれまでの海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、10 月 9 日、奄美海上保安部でラジオ工作教室を開催しました。教室には、奄美大島の小学 4 年～6 年生の 31 名とその保護者らが参加し、完成したラジオから音が聞こえると満面の笑み、奄美の FM 放送などを夢中で聞き入りました。そして完成したラジオはお土産に持ち帰りました。



完成したラジオ



海上保安部長の挨拶



工作に夢中



音が聞こえて親子で笑顔



完成したラジオと満面の笑み(午前の部)



完成したラジオと満面の笑み(午後の部)

屋仁小学校で薬物乱用防止教室を開催

10月25日、奄美市笠利町の屋仁小学校で奄美海上保安部の海上保安官2名が「薬物乱用防止教室」を開催、児童4名と教諭1名が参加しました。薬物依存の恐ろしさと誘われた時の断り方を学んだ児童らは、薬物に手を出さないことを誓い「ダメ・ゼッタイ」を約束しました。



大島支庁長と県立大島病院長が巡視船「あまぎ」を見学

8月8日、新川大島支庁長と奄美群島の医療提供中核の石神大島病院長が、巡視船「あまぎ」を見学しました。海上保安庁の業務概要の説明を行うとともに、離島急患搬送を想定した患者の搬入訓練を見学、巡視船「あまぎ」での航海も体験しました。



患者の搬入訓練



記念撮影

IMALU & 大島高校 & 奄美海上保安部

11月7日、奄美の美しい「海洋環境の保全」と緊急通報用電話番号「118番」の啓発のために、タレントのIMALUさんと大島高校書道部とコラボしました。多数の新聞やテレビの取材も行われ、後日、広く報道されました。

奄美の美しい海を守れ 海洋環境保全

海のもしもは118 (いいや〜) !

IMALU & 大島高等学校書道部



島唄にリズムカルに筆よ踊れ!



“躍動”



奄美海上保安部管内図

“協力”



突然のIMALUさんの激励に巡視船「あまぎ」 “緊張”



健康管理研修を受講



10月21日、奄美海上保安部の海上保安官らは、奄美市健康増進課による健康管理研修を受講、メタボや生活習慣病の予防と対策などを学びました。

予防の5つのキーワードは、**食事・運動・ストレス（休養）・タバコ・お酒!!**です。

けん銃の取扱訓練

9月9日、奄美海上保安部の海上保安官らが、けん銃の取扱訓練を行いました。

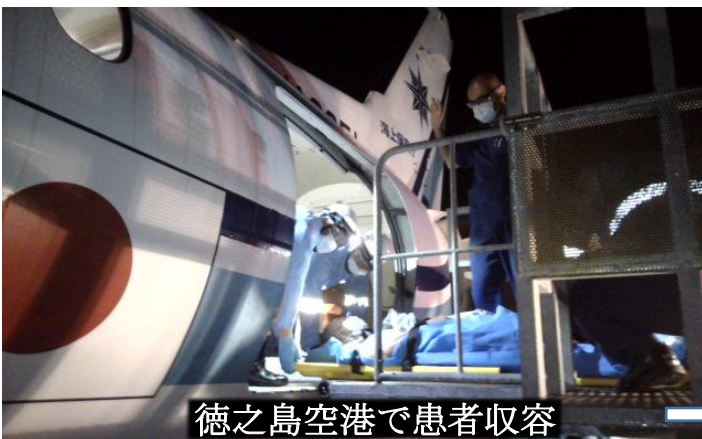


注意事項説明

操作訓練

徳之島～奄美大島～鹿児島、深夜の連続急患搬送

10月17日から18日にかけて、鹿児島航空基地の航空機が、深夜の連続急患搬送を行いました。鹿児島県危機管理防災局の要請で、1件目は、17日22時に徳之島空港で患者を収容、23時10分に奄美空港で救急隊へ引継ぎ、更に2件目は、23時15分に奄美空港で患者を収容、18日の1時25分に鹿児島空港で救急隊へ引継ぎました。



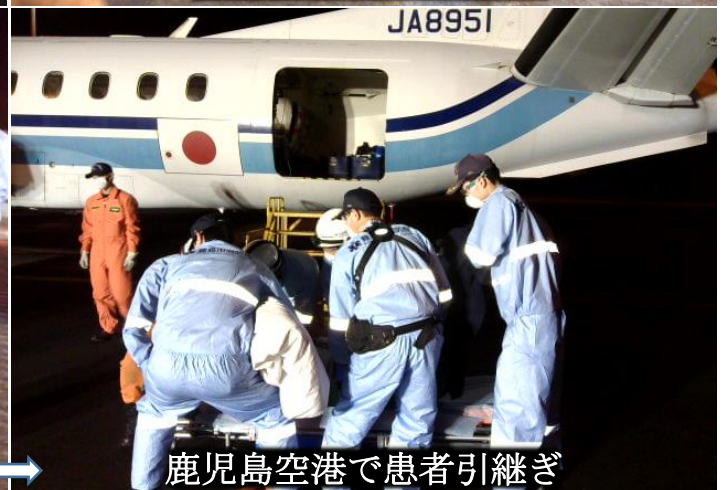
徳之島空港で患者収容



奄美空港で患者引継ぎ



奄美空港で患者収容



鹿児島空港で患者引継ぎ

宇検村沖で作業船が座礁、乗組員 8 人全員救助

10月25日、3時27分、宇検村の枝手久島沖で乗り揚げた作業船の船長から第十管区海上保安本部に救助要請がありました。奄美海上保安部の巡視船「あまぎ」、那覇航空基地の航空機が、9時23分までに乗組員8人全員を救助しました。

また、油防除に関する高度な専門知識を持つ、海上保安庁機動防除隊が現場に急行、11月3日までに船舶所有者によって燃料油等のほぼ全てが回収されました。



作業船からヘリコプターで吊上げ救助

巡視船「あまぎ」

◇ 8月24日、名瀬港で司法修習生など7名が巡視船「あまぎ」を見学しました。海上保安庁や巡視船業務の概要説明を受け、船内見学と潜水士の潜水機材の説明に活発な質問と応答が交わされました。



潜水機材の説明



記念撮影

◇ 11月8日、喜界島の早町漁港で、巡視船「あまぎ」の潜水士と喜界消防分署水難救助隊の消防士が、巡視船「あまぎ」支援のもと遭難者の捜索と救助等の合同潜水訓練を行い、相互の技能の向上と連携の強化を図りました。



◇ 9月4日、名瀬港で、新たに救急員^{*}に指名された巡視船「あまぎ」の潜水士が巡視船「あまぎ」乗組員に救急処置の研修を行いました。座学の後、訓練用人形(レサシアン)を使って、喉から異物を除去する方法などを学びました。

※ 救急救命士の補助者として、応急の手当等(咽頭・声門上部の異物除去、経口・経鼻気道確保、自動式心マッサージ機によるマッサージ、バックマスクによる人工呼吸ほか)を実施することができる者。



訓練用人形(レサシアン)を使った訓練



機材の説明

◇ 11月20日、名瀬港の観光船バースで、建設業会奄美支部主催の土木フェスタに併せて巡視船「あまぎ」を公開しました。1083名が見学、船上は多数の子供の笑顔で溢れました。又、「未来に残そう青い海」図画コンクールの奄美群島の入賞者の表彰式も行いました。



図画コンクール入賞者



図画コンクール表彰式



巡視艇「いそなみ」 & 古仁屋海上保安署

◇ 10月14日、古仁屋小学校2年生の児童40名が、遠足で古仁屋海上保安署を訪問、巡視艇「いそなみ」の見学と海洋環境教室やロープワーク教室などで海の安全安心を守る仕事を学びました。古仁屋海上保安署の職員らは、将来、児童らが奄美の美しい海を守る海上保安官になってほしいと願いました。



海上保安署長あいさつ



巡視艇「いそなみ」見学



ロープワーク教室



海洋環境教室

◇ 11月15日、古仁屋高校の2年生4名が、古仁屋海上保安署でインターンシップ(職業体験)を行いました。海上保安庁の業務概要説明、海難救助のための訓練やFMラジオ76.8MHzに生出演し海難防止などを呼びかけました。



海難救助(搬送)訓練



巡視船「かいもん」

◇ 9月11日、名瀬港で巡視船「かいもん」は火災船を消火するための訓練を行いました。



消火ホースとノズルのセット



放水消火

◇ 9月28日、名瀬港で巡視船「かいもん」は、突然に津波が襲って来た際に、普段より少ない乗組員で素早く出港して沖合の安全な海域に避難するための訓練を行いました。



出港作業



甲板作業

◇ 10月3日、大和村の沖で巡視船「かいもん」は、巡視艇「いそなみ」とエンジンが故障した遭難船を曳航救助するための訓練を行いました。



曳航ロープを渡すためにもやい銃を「かいもん」から「いそなみ」に向けて発射

◇ 10月12日、名瀬港で巡視船「かいもん」は、心肺蘇生法の訓練とライフゼム(空気呼吸器/火災などの災害現場で救助作業者などが有害ガスを吸わないために使用する救助用具)の装着訓練を行いました。



奄美の美しい海を守れ、FMラジオで呼びかけ

11月4日、奄美のFMラジオ77.7MHzに奄美海上保安部の海上保安官が生出演、奄美の美しい海を守る取組みをテーマに環境クイズを出題、リスナーへ海洋環境保全の大切さを呼びかけました。また、11月20日に土木フェスタで行われる巡視船「あまぎ」の一般公開と「未来に残そう青い海」図画コンクールの表彰式をお知らせしました。



工事作業等の警戒業務講習会を開催

11月11日、奄美市の奄美文化センターで、工事作業等の警戒業務講習会を開催、管理講習と警戒講習に延べ69名が受講しました。講習は、港湾や空港などの海上工事と測量や潜水調査などの海上作業での警戒業務に不可欠です。



海上保安協力員の連絡会議を開催

11月1日、奄美海上保安部で海上保安協力員連絡会議を開催、奄美群島の各地から6名の海上保安協力員が参加し、奄美海上保安部長ほか7名の職員と水産動植物の密漁防止対策などで、活発な意見交換を行いました。



笠利埼灯台を公開

10月30日、奄美群島の最北端の海のみちしるべ、笠利埼灯台を公開しました。

島内外からの120名が普段は登ることの出来ない標高60mの灯台の上から奄美の美しい青い海と空と緑の大地の絶景を楽しみました。

海上保安庁パンフレット、航路標識のはなしパンフレットや管内の灯台のペーパークラフトの配布、海上保安庁広報DVDの放映と管内の灯台等の写真の展示、特に個数限定の奄美海上保安部オリジナル缶バッジや海と灯台ウィーク2022のバッジのプレゼントに子供らは大喜びでした。そして、海上保安官の制服試着コーナーでは、大人から子供まで、制服や制帽で記念撮影、楽しい思い出となりました。



ベテランカメラマン6名が熱写



ご機嫌



未来の女性海上保安官3名

与論港の航路標識の監視協力者へ感謝状を謹呈

11月1日の灯台記念日、奄美海上保安部は、与論島の与論港の海のみちしるべ与論港供利指向灯の灯火監視協力者、武東タツ子さまへ、第十管区海上保安本部長の感謝状を伝達しました。武東さまは、2007年11月1日に奄美海上保安部長から指向灯の監視を受託、15年間に亘り、与論港の安全に貢献されてきました。

感謝状は、与論町の町長室で武東さまの御令嬢と久留与論町副町長の立会いのもと伝達、新聞1社と与論町広報誌の取材も行われ、翌日の新聞で広く報道されました。

外海離島である奄美群島では、燃料や食料などの生活必需物資の安定供給には船舶による海上輸送が不可欠で、与論港は、タンカー、貨物船や定期フェリーが寄港可能な与論島唯一の港です。また、奄美群島の38の航路標識は、6つの離島に点在、これらの適切な管理や台風通過後等の被害の把握と迅速な復旧には、監視協力者が不可欠です。これまでのご協力への感謝を込めて感謝状を伝達、引き続きのご協力をお願いいたしました。



伝達



左から、ご令嬢、武藤さま、久留与論町副町長

漁船の安全操業と釣り中の事故防止を呼びかけ

10月1日～31日、全国漁船安全操業推進月間と秋季安全推進活動期間に、奄美海上保安部は奄美群島の各島の港や海岸などで「漁船の安全操業」と釣りシーズンを迎えて「釣り中の事故防止」を呼びかけました。



喜界島



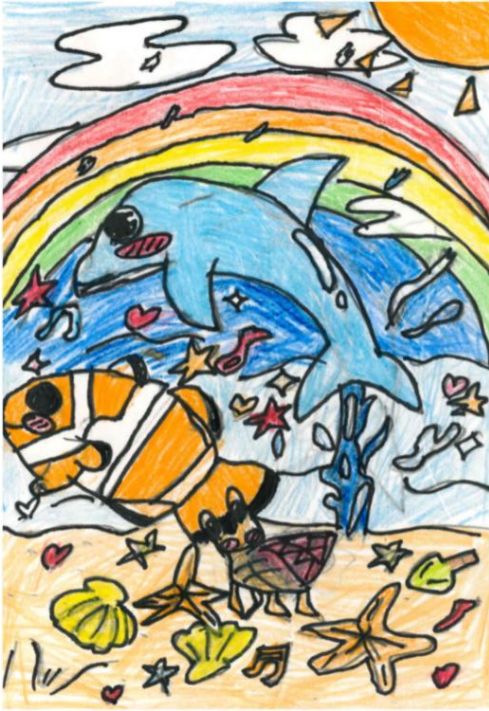
徳之島



令和4年度「未来に残そう青い海」海上保安庁図画コンクール

奄美群島地区からの入賞作品が決定いたしました。

小学学校低学年の部



◇ 海上保安協会奄美支部長賞

本間 妃陽 さま (奄美市立小宿小学校 2年)



◇ 奄美海上保安部長賞

東 一太 さま (和泊町立和泊小学校 3年)



◇ 優秀賞

平山 諒 さま (和泊町立大城小学校 3年)



◇ 優秀賞

盛山 湊太 さま (和泊町立和泊小学校 2年)



◇ 審査員特別賞

窪田 琉那 さま (奄美市立朝日小学校 1年)

➤ 小学校高学年の部



◇ 第十管区海上保安本部設立 60 周年記念賞
輝 一慶 さま (喜界町立喜界小学校 5 年)



◇ 海上保安協会奄美支部長賞
原田 晟冴 さま (龍郷町立戸口小学校 5 年)



◇ 奄美海上保安部長賞
田崎 絢海 さま (奄美市立朝日小学校 6 年)



◇ 優秀賞
淵野 昊平 さま (和泊町立和泊小学校 5 年)



◇ 審査員特別賞
盛山 結花 さま (和泊町立和泊小学校 4 年)

令和5年10月入校の海上保安学校学生採用試験

令和5年3月に受付開始予定!!

◆ 試験日程(予定)

試験名	受付期間	第一次試験	第一次試験合格者発表	第二次試験	最終合格者発表
海上保安学校 採用試験(特別) 船舶運航システム課程	3月下旬 ~ 4月上旬	5月中旬	6月初旬	6月初旬 ~ 6月下旬	7月下旬

◆ 受験資格(予定)

- 2023(令和5年)4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して13年を経過していない者及び2023(令和5年)9月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって2023(令和5年)4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して13年を経過していない者等 人事院が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者

◆ 試験項目・試験の方法(予定)

	試験	種目			
船舶運航 システム課程	第一次試験	基礎能力試験(多岐選択式)		作文試験	
	出題数(回答時間)	40題(1時間30分)		1題(50分)	
	配点比率	3/8		※	
	第二次試験	人物試験	身体検査	身体測定	体力検査
	配点比率	1/4	※	※	※

(注)「配点比率」欄に※が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、得点化されません。

海上保安学校

